

事業評価の結果（内容評価項目）

福祉サービス種別 障がい者支援施設
事業所名（明星学園）

第三者評価の判断基準

長野県福祉サービス第三者評価基準の考え方と評価のポイント、評価の着眼点【障がい者・児福祉サービス版】共通項目に係る判断基準による

○判断基準の「a、b、c」は、評価項目に対する到達状況を示しています。
 「a」評価・・・よりよい福祉サービスの水準・状態、質の向上を目指す際に目安とする状態
 「b」評価・・・aに至らない状況＝多くの施設・事業所の状態、aに向けた取組みの余地がある状態
 「c」評価・・・b以上の取組みとなることを期待する状態

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
A	1 利用者の尊重と権利擁護	(1) 自己決定の尊重	① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1 利用者の自己決定を尊重するエンパワメントの理念にもとづく個別支援を行っている。 ■ 2 利用者の主体的な活動については、利用者の意向を尊重しながら、その発展を促すように支援を行っている。 ■ 3 趣味活動、衣服、理美容や嗜好品等については、利用者の意思と希望や個性を尊重し、必要な支援を行っている。 ■ 4 生活に関わるルール等については、利用者と話し合う機会（利用者同士が話し合う機会）を設けて決定している。 ■ 5 利用者一人ひとりへの合理的配慮が、個別支援や取組をつづけて具体化されている。 ■ 6 利用者の権利について職員が検討し、理解・共有する機会が設けられている。 	<p>○お心主義をモットーに意思決定支援を推進し、利用者ひとり一人のニーズを導き出す努力を日々行なっている様子が伺えました。</p> <p>○ゆとりある生活空間の中で、個々のエンパワメントに沿った日課を提供して、作品に仕上げて販売していました。個々の生きがいや癒しに繋げる支援努力が、事業所サービスの利用満足度調査結果にも表れ、大変高いものになっていました。</p> <p>○生活環境及び支援方法は職員の皆さんの長い年月の支援会議で繰り返し検討され、利用者個別の意向や自己決定を尊重し、大切に受けとめた結果として、現在の生活の流れとなっています。今も日々の自己選択を尊重し、合理的配慮のもと作品作りを行なっていました。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
		(2) 権利侵害の防止等	① 利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。	C)	<input type="checkbox"/> 7 権利侵害の防止等のために具体的な内容・事例を収集・提示して利用者に周知している。 <input checked="" type="checkbox"/> 8 権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 9 原則禁止される身体拘束を緊急やむを得ない場合に一時的に実施する際の具体的な手続と実施方法を明確に定め、職員に徹底している。 <input checked="" type="checkbox"/> 10 所管行政への虐待の届出・報告についての手順等を明確にしている。 <input type="checkbox"/> 11 権利侵害の防止等について職員が具体的に検討する機会を定期的に設けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 12 権利侵害が発生した場合に再発防止策等を検討し、理解のもとで実践する仕組みが明確化されている。	<p>○人権倫理委員会は毎月、虐待防止委員会では随時必要に応じて会議が開かれています。昨年度の事故・ヒヤリハット件数は事業報告書にまとめ、その内容、改善策等を具体的に記載し、保護者、ご家族の皆さんに公表されています。</p> <p>○学園の広報誌プリズムでは、3か月ごとに苦情件数、人権侵害・虐待を疑わせる通報件数も公表し、その後の学園での研修参加や取り組み活動を明記し、各クラスで人権擁護、虐待防止に関わる強化週間を設けていることを伝えるなど、職員の意識向上にも繋げていました。</p> <p>○車いすを利用されている利用者の多い月組では、身体拘束は生命、身体を保護するため緊急やむを得ない場合の一時的拘束であることを、月2回開かれている運営会議の中で定期的に検討し、拘束に代わる方法等の見直しを行っていました。</p>
	2 生活 支援	(1) 支援の基本	① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	a)	<input checked="" type="checkbox"/> 13 利用者の心身の状況、生活習慣や望む生活等を理解し、一人ひとりの自律・自立に配慮した個別支援を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 14 利用者が自力で行う生活上の行為は見守りの姿勢を基本とし、必要な時には迅速に支援している。 <input checked="" type="checkbox"/> 15 自律・自立生活のための動機づけを行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 16 生活の自己管理ができるように支援している。 <input checked="" type="checkbox"/> 17 行政手続、生活関連サービス等の利用を支援している。	<p>○知的発達障がい、強度行動障がいや介護を伴う障がいをお持ちの利用者が多く、平均支援区分は5.5以上の方が利用しています。その人らしく、生き生きと生活して欲しいという信念は「みんな幸せになりたい あなたも私も」と法人理念で謳い、明星学園の憲章や職員の行動基準でも、「どんな小さな発信も受けとめ、対等、肯定の姿勢で、意思決定支援をサポートします」と提言し、利用者一人ひとりの自律・自立に向けた個別支援計画作成に心掛けていました。</p> <p>○棟の廊下には、「会えるかなボード」、「日勤者ボード」、「待ってたよボード」を利用者さんが見やすい目線の高さに設置して、今日1日の職員顔ぶれや訪問者などを知らせていました。今日1日が安心して過ごせる動機づけをして、自己管理しやすい生活環境を整えています。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
			② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 18 利用者の心身の状況に応じて、さまざまな機会や方法によりコミュニケーションがはかられている。 ■ 19 コミュニケーションが十分ではない利用者への個別的な配慮が行われている。 ■ 20 意思表示や伝達が困難な利用者の意思や希望をできるだけ適切に理解するための取組を行っている。 ■ 21 利用者のコミュニケーション能力を高めるための支援を行っている。 ■ 22 必要に応じて、コミュニケーション機器の活用や代弁者の協力を得るなどの支援や工夫を行っている。 	<p>○外部から専門講師を招いて音楽療法をはじめ、動作法、PT・STの巡回指導や療法関係分野で9種類に及んだものになっています。特にアロマセラピーは専門講師によるオイルマッサージの指導を受けて、体と心を癒すことからコミュニケーションを深めるアプローチを毎週行なっています。それぞれの分野の専門家に学び、職員のコミュニケーション能力を高めていました。</p> <p>○視覚からのコミュニケーションツールとして大きなカレンダーにカラーコピーされた絵や写真を貼って、一目で解りやすい予定表がそれぞれの部屋に貼られています。縦に長い1か月の予定表だったり、自宅に電話をかける日には電話機の絵が大きく貼られているなど、個々の特性や気持ちに沿ったカレンダーや表示になっていました。</p>
			③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 23 利用者が職員に話したいことを話せる機会を個別に設けている。 ■ 24 利用者の選択・決定と理解のための情報提供や説明を行っている。 ■ 25 利用者の意思決定の支援を適切に行っている。 ■ 26 相談内容について、サービス管理責任者等と関係職員による検討と理解・共有を行っている。 ■ 27 相談内容をもとに、個別支援計画への反映と支援全体の調整等を行っている。 	<p>○年々利用者からの外出希望が多くなってきた為、担当職員と一緒に買い物や外食などに出かける機会が増えています。必然的に1対1の対応時間が増えて、ゆっくり相談できる機会にもなっていました。信頼関係も深められて、適切な意思決定支援にも繋がっていました。</p> <p>○月2回の運営会議や相談支援企画運営委員会が設けられ、利用者さんからの声から「わくわくハピネス」といった日中活動行事を立ち上げています。利用者さんへの聞き取り調査でも、自分たちで作った野菜中華チャーハンが美味しかったと喜びの声も伺えました。日常で大切に聞き取って反映し、実現に勤めていました。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
			④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 28 個別支援計画にもとづき利用者の希望やニーズにより選択できる日中活動(支援・メニュー等)の多様化をはかっている。 ■ 29 利用者の状況に応じて活動やプログラム等へ参加するための支援を行っている。 ■ 30 利用者の意向にもとづく余暇やレクリエーションが適切に提供されている。 ■ 31 文化的な生活、レクリエーション、余暇及びスポーツに関する情報提供を行っている。 ■ 32 地域のさまざまな日中活動の情報提供と必要に応じた利用支援を行っている。 ■ 33 個別支援計画の見直し等とあわせて日中活動と支援内容等の検討・見直しを行っている。 	<p>○日中活動は、10種の分野から外部講師を招いて実施しています。音楽療法をはじめ、動作法、アート活動(2種)、言語療法、運動療法、アニマルセラピーなど内容は多様で、利用者のニーズに沿った選択肢の多い日中活動になっていました。また、その頻度は、月1回の巡回指導のものから、月2~4回、アロマセラピーは毎週実施し、利用者には人気の高いものになっていました。</p> <p>○季節ごとに個別支援計画の振り返りを行ない(3・8・12月)、ご家族の方にも来て頂いて見直しを行なっています。利用者のニーズに応じて、新たに出来た日中活動「わくわくハピネス」がありました。近くの公共の体験工房に向いて個々の趣味に沿った、楽しい体験行事になっています。多彩な活動を外部から取り入れたことに甘んじず、常に利用者と同じ向き合い、希望に沿った日中活動を目指して日々努力している様子が伺えました。</p>
			⑤ 利用者の障がいの状況に応じた適切な支援を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 34 職員は障がいに関する専門知識の習得と支援の向上をはかっている。 ■ 35 利用者の障がいによる行動や生活の状況などを把握し、職員間で支援方法等の検討と理解・共有を行っている。 ■ 36 利用者の不適応行動などの行動障がいに個別的かつ適切な対応を行っている。 ■ 37 行動障がいなど個別的な配慮が必要な利用者の支援記録等にもとづき、支援方法の検討・見直しや環境整備等を行っている。 ■ 38 利用者の障がいの状況に応じて利用者間の関係の調整等を必要に応じて行っている。 	<p>○明星学園の療育研究会では毎年外部講師を招いて、具体的な事例をあげて医師や専門職の講師に助言を頂き実践に結び付けていました。また、昨年から設置した「人材育成委員会」では、職員の育成を図る為の内部研修の企画から、外部研修計画の立案を行なう現場の意見をくみ上げた研修を目指していました。</p> <p>○強度行動障がい者の事例で、他害行為が起きた背景を検証し、時には職員対応が原因だったり、原因不明の場合はデータを取ってから検証を続けるなど、その後の対応に繋げる会議が繰り返し開かれていました。</p> <p>○各棟は障がい特性で分かれています。個人のニーズに応じ棟を超えた対応も行なっていました。利用者間の折り合いから、限定された時間に訪れて良い時間を導き、穏やかに過ごされている利用者の様子がありました。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
		(2) 日常的な生活支援	① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 39 食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本としておいしく、楽しく食べられるように工夫されている。 ■ 40 利用者の心身の状況に応じて食事の提供と支援等を行っている。 ■ 41 利用者の心身の状況に応じて入浴支援や清拭等を行っている。 ■ 42 利用者の心身の状況に応じて排せつ支援を行っている。 ■ 43 利用者の心身の状況に応じて移動・移乗支援を行っている。 	<p>○食事は管理栄養士を配置して、塩分控えめの食事を工夫されたことで、降圧剤服用者数も減ってきていました。また、食事時の利用者の様子を、巡回観察している姿も見られ、日々努力している様子が伺えました。</p> <p>○食堂の壁には個々の名前で明記されたボードが貼られ、それぞれの好みの食事が記載されていました。それは多彩で、代替え食はもちろん、麺類が好きな方には麺類を毎食用意するなど、個々の意向に沿った工夫がされています。食事面の利用者調査でも満足度の高い結果になっていました。</p> <p>○浴室は身体の状態に応じて対応できるように特浴も準備され、入浴の利用形態から入浴回数は個々の希望に応じて実施しています。日々の体調は看護師と連携をとり、無理のない実施に心掛けていました。</p>
		(3) 生活環境	① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 44 利用者の居室や日中活動の場等は、安心・安全に配慮されている。 ■ 45 居室、食堂、浴室、トイレ等は、清潔・適温と明るい雰囲気を保っている。 ■ 46 利用者が思い思いに過ごせるよう、また安眠(休息)できるような生活環境の工夫を行っている。 ■ 47 他の利用者に影響を及ぼすような場合、一時的に他の部屋を使用するなどの対応と支援を行っている。 ■ 48 生活環境について、利用者の意向等を把握する取組と改善の工夫を行っている。 	<p>○食堂と浴室は各棟の真ん中に位置し、天井は高く、明るく広々とした雰囲気になっていました。</p> <p>○利用者の生活環境は、それぞれが自由に過ごされていて、皆さんが憩う場のテレビ前には毛布を掛けて横になっている方、一人部屋で壁じゅうに好きな文字や絵を書いて、自分の時間を満喫されている方など、それぞれの思いに沿った過ごし方をされていました。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
		(4) 機能訓練・生活訓練	① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 49 生活動作や行動のなかで、意図的な機能訓練・生活訓練や支援を行っている。 □ 50 利用者が主体的に機能訓練・生活訓練を行えるよう工夫している。 ■ 51 利用者の障がいの状況に応じて専門職の助言・指導のもとに機能訓練・生活訓練を行っている。 □ 52 利用者一人ひとりの計画を定め、関係職種が連携して機能訓練・生活訓練を行っている。 □ 53 定期的にモニタリングを行い、機能訓練・生活訓練計画や支援の検討・見直しを行っている。 	<p>○理学療法士、言語聴覚士の巡回指導により、心身の機能の低下防止や嚥下障害の防止等に重点をおき、毎月1回の訪問指導を受けていました。職員は専門講師から大いに学び、支援する中で新たに生じた疑問点を次の訪問時に聞き取るなど、今後の対応に役立てていました。</p> <p>○既に動作法に関しては、学んだ職員が担当職員として指導し、年間計画表をびっしり埋めていました。身体の緊張をほぐして心身の安定を図り、職員と利用者との信頼関係はもちろん、利用者の安心感の向上に努めていました。</p> <p>○今後は外部から招いて専門職から学んだ事を全職員が共有し、利用者の日々の生活動作や行動の中で機能訓練に繋げ、身体的な能力維持を目指して、自主的に取り組めるような自立に向けての支援の工夫やその機会を増やすような計画が期待されます。</p>
		(5) 健康管理・医療的な支援	① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 54 入浴、排せつなどの支援のさまざまな場面をつうじて、利用者の健康状態の把握に努めている。 ■ 55 医師又は看護師等による健康相談や健康面での説明の機会を定期的に設けている。 ■ 56 利用者の障がいの状況にあわせた健康の維持・増進のための工夫を行っている。 ■ 57 利用者の体調変化等における迅速な対応のための手順、医師・医療機関との連携・対応を適切に行っている。 ■ 58 障がい者・児の健康管理等について、職員研修や職員の個別指導等を定期的に行っている。 	<p>○毎日の健康状態は検温から始まり、入浴時には体全体のチェック、おむつ交換時には便の様子などで日々の健康状態を把握していました。毎年の集団健診、市の大腸がん検診、内科・歯科検診等を受けていて、嘱託医は毎月の往診で個々の体調を把握し、急な体調変化にも迅速に対応できるようになっていました。</p> <p>○車いす使用の方が30%、カテーテル使用の方もいるので、毎日のバイタルチェック、衛生面に配慮したケアは看護師が中心として行なっていました。食事の介助方法や体位交換まで、個々の利用者それぞれの障がいにあった支援を理学療法士に学び、看護師が細かい指導を受けて支援職員に伝えていました。</p> <p>○通院時は普段から様子を把握している担当職員が付き添って、利用者自信が安心して受診できるように配慮していました。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
			② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 59 医療的な支援の実施についての考え方(方針)と管理者の責任が明確であり、実施手順や個別の計画が策定されている。 ■ 60 服薬等の管理(内服薬・外用薬等の扱い)を適切かつ確実にやっている。 ■ 61 慢性疾患やアレルギー疾患等のある利用者については、医師の指示にもとづく適切な支援や対応を行っている。 ■ 62 介護職員等が実施する医療的ケアは、医師の指示にもとづく適切かつ安全な方法によりやっている。 ■ 63 医師や看護師の指導・助言のもと、安全管理体制が構築されている。 ■ 64 医療的な支援に関する職員研修や職員の個別指導等を定期的に行っている。 	<p>○利用者個々の疾病状況を把握し、正しい医療的ケアを理学療法士・言語聴覚士に学びながら、日中活動の中で取り上げて実施しています。また、療育研究会が設置され、事例検討をもとに医師を招いての研修会も開かれています。</p> <p>○毎日の服薬準備は看護師が医務室で行ない、服薬の保管は常時施錠できる所で管理するなど、しっかりした管理体制が徹底されています。</p>
	(6)	社会参加、学習支援	① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 65 利用者の希望と意向を把握し、社会参加に資する情報や学習・体験の機会を提供する等、社会参加への支援を行っている。 ■ 66 利用者の外出・外泊や友人との交流等について、利用者を尊重して柔軟な対応や支援を行っている。 ■ 67 利用者や家族等の希望と意向を尊重して学習支援を行っている。 ■ 68 利用者の社会参加や学習の意欲を高めるための支援と工夫を行っている。 	<p>○利用者の希望では外出のニーズが多い為、買い物やボウボウリング、外食などを楽しんでもらえるように、職員と1対1で出かけるなど柔軟な対応をしていました。また旅行は、利用者の希望を聞き、日帰り旅行と1泊旅行に分かれて実施していました。</p> <p>○障がいの重い方が多いので学習希望・意向を聞くことは難しく、定期的に外部から2名のアート講師を招いて、絵画やアート作品を通して自己表現できるように学習できる機会を設けていました。また、可愛い作品作りが好きな利用者が作った髪留めなども販売して、その収益金を貯金箱に貯めて、その後の目票に向かった支援を行っていました。</p>
	(7)	地域生活への移行と地域生活の支援	① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 69 利用者の希望と意向を把握し、地域生活に必要な社会資源に関する情報や学習・体験の機会を提供している。 ■ 70 利用者の社会生活力と地域生活への移行や地域生活の意欲を高める支援や工夫を行っている。 ■ 71 地域生活への移行や地域生活について、利用者の意思や希望が尊重されている。 ■ 72 地域生活への移行や地域生活に関する課題等を把握し、具体的な生活環境への配慮や支援を行っている。 ■ 73 地域生活への移行や地域生活のための支援について、地域の関係機関等と連携・協力している。 	<p>○地域生活への移行に関しての希望は、毎年相談支援員から確認していました。ただ希望者はなく、聞き取り調査結果でもわかるように、利用者全員が明星学園の生活に「大満足」していました。</p> <p>○色々な所に出かけたり、地域のイベントに参加したり、公共施設を利用したりと、今また社会に出る機会が増えてきています。地域社会への視野も広がり、地域移行の希望も出てくる可能性を見据えて、今後も継続した取り組みを期待しています。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
		(8) 家族等との連携・交流と家族支援	① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 74 家族等との連携・交流にあたっては、利用者の意向を尊重して対応を行っている。 ■ 75 利用者の生活状況等について、定期的に家族等への報告を行っている。 ■ 76 利用者の生活や支援について、家族等と意見交換する機会を設けている。 ■ 77 利用者の生活や支援に関する家族等からの相談に応じ、必要に応じて助言等の家族支援を行っている。 ■ 78 利用者の体調不良や急変時の家族等への報告・連絡ルールが明確にされ適切に行われている。 ■ 79 利用者の生活と支援に関する家族等との連携や家族支援についての工夫を行っている。 	<p>○平成4年には利用者と、その家族との交流の場として保護者会館が建設され、またその後には兄弟会も立ち上がるなど、家族間交流も深まっていました。</p> <p>○家族会食会は年に1度各クラスごとに分かれて実施され、懇談会は年間3回開いて、学園情報を伝達したり、家族との意見交換をするなど交流を深めています。またご家庭には、年2回の学園頼りを配布したり、事故案件や通院後の報告などその都度ご自宅に電話連絡していました。</p> <p>○事故についての報告は、その都度包み隠さずご家族に報告していますが、はじめは家族からのクレームもあり大変な時期もありました。危ない箇所の確認やその後の対策で、今では事故件数も減り、家族の理解も得られるようになってきていました。</p>
	3 発達支援	(1) 発達支援	① 子どもの障がいの状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	a) b) c)	<ul style="list-style-type: none"> □ 80 子どもの発達過程や適応行動の状況等を踏まえた発達支援(個別支援)を行っている。 □ 81 子どもの発達に応じて必要となる基本的日常動作や自立生活を支援するための活動や取組について、個別活動と集団活動を組み合わせながら実施している。 □ 82 子どもの活動プログラムについてはチームで作成するとともに、子どもの状況に応じた工夫や見直しを行っている。 □ 83 子どもと保護者に対し、学校及び保育所や認定こども園、児童発達支援事業所等との情報共有、連携・調整をはかっている。 	<p>対象外</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
	4 就労支援	(1) 就労支援	① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	a) <input type="checkbox"/> b) <input type="checkbox"/> c) <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 84 利用者一人ひとりの働く力や可能性を引き出すような取組や工夫を行っている。 <input type="checkbox"/> 85 利用者一人ひとりの障がいに応じた就労支援を行っている。 <input type="checkbox"/> 86 利用者の意向や障がいの状況にあわせて、働くために必要なマナー、知識・技術の習得や能力の向上を支援している。 <input type="checkbox"/> 87 働く意欲の維持・向上のための支援を行っている。 <input type="checkbox"/> 88 仕事や支援の内容について、利用者への定期的な報告と話し合いを行っている。 <input type="checkbox"/> 89 地域の企業、関係機関、家族等との連携・協力のもとに就労支援を行っている。	対象外
			② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	a) <input type="checkbox"/> b) <input type="checkbox"/> c) <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 90 利用者の意向や障がいの状況に応じた仕事時間、内容・工程等となっている。 <input type="checkbox"/> 91 利用者が選択できるよう、多様な仕事の内容・工程等を提供するための工夫を行っている。 <input type="checkbox"/> 92 仕事の内容・工程等の計画は、利用者で作成するよう努めている。 <input type="checkbox"/> 93 賃金(工賃)等を利用者にわかりやすく説明し、同意を得たうえで適切に支払われている。 <input type="checkbox"/> 94 賃金(工賃)を引き上げるための取組や工夫を行っている。 <input type="checkbox"/> 95 労働安全衛生に関する配慮を適切に行っている。	対象外

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
			③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	a)	<input type="checkbox"/> 96 職場や受注先の開拓等により仕事の機会の拡大(職場開拓)に努めている。 <input type="checkbox"/> 97 障害者就業・生活支援センターやハローワーク等との連携を定期的かつ適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 98 利用者の障がいの状況や働く力にあわせて、利用者と企業とのマッチングなどの就職支援を適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 99 就労後の利用者と職場との関係づくりなど、職場定着等の支援を必要に応じて行っている。 <input type="checkbox"/> 100 利用者や地域の障がい者が離職した場合などの受入や支援を行っている。 <input type="checkbox"/> 101 地域の企業等との関係性の構築や障がい者が働く場における「合理的配慮」を促進する取組・働きかけを行っている。	対象外